

第18回議会報告会における市民からの要望について（回答）

1 東条学園の建設が始まるが、建設をスムーズに進めることが必要。

そのためには、今の東条中学校の下部法面で土砂が流れているところに、早急に土どめの対策をとるべきである。教育委員会や土木課の担当に聞くと、一部は今年工事するが、残りは予算がないので遅れるとのことだったが、土砂が流れたりすると東条学園の建設にも支障がでるのではないか。

【回答内容】

該当の法面については、以前から改修工事及びしがらネット柵の設置により対応してきました。昨年度は集中豪雨等により表土が流出したため、まず、応急処置としてしがらネット柵を増設しました。今年度は法面の改修工事を実施する計画としています。施工時期につきましては、東条中学校と調整の上、秋以降に着工する予定です。なお、この工事により東条学園の建設に支障が出ることはありません。

2 滝野工業団地は、現在13社あるが、社員を雇用したくても敷地内の駐車場が不足している。周辺にある調整池では、白線を引いて駐車場として活用されているので、他の調整池を活用するなど、市で早急に工業団地周辺に駐車場を確保していただきたい。

【回答内容】

駐車場不足については企業側からも伺っており、市と滝野工業団地連絡協議会とで既存敷地の活用等について協議します。

調整池は本来、雨水排水をストックするための施設であるため、大雨の際には車が冠水する恐れがあります。安全面等の観点から、長期間に渡り社員用駐車場とすることは避けるべきと考えます。

3 滝野工業団地で働く人が、住居を小野市に建設している。JR社町駅の西側の土地を開発し、宅地及びバスターミナルかロータリーをつくるべき。税収の確保にもつながるのでは。

【回答内容】

ご提案のJR社町駅の西側の区域は市街化調整区域であり、また、農振農用地区域であることから農業以外の土地利用については、厳しい制限があり、優先して宅地開発等を行うことができない区域となっています。

滝野工業団地と小野市の直近の距離は約1.5km程度ですが、加東市内の同距離内には、住宅地の未利用地が存在し、また、諸要件はあるものの農振除外地もあり、住宅建設用の土地はあると考えており、そういった土地の利用を優先すべきと考えます。

- 4 東条学園は、4・3・2制でやっていくとのことだが、子どもたちの精神的な発達に沿うように移行してほしい。

【回答内容】

初めの4年間は、学習面での基礎基本や学習・生活習慣の定着を図ります。次の3年間では、一部教科担任制を取り入れ、前期で身に付けたことを徹底させ、思春期の課題に対応します。最後の2年間では、15歳の旅立ちに向け、自主自立の態度の育成や興味・関心・能力に応じた個性の伸長を図ります。各発達段階を考慮したのが4・3・2制であり、より充実した教育活動に向け、スムーズな移行を図ります。

- 5 総合計画時のアンケートで「環境が良い」との答えが多かったが、これは“田”が多いからだと思う。農業を守るためにどうすればよいかを考える必要がある。

J A・市・農家が協力して、農業を続けられる方策を検討すべきでは。

【回答内容】

地域の農業を維持していくためには、「人」と「農地」の問題を一体的に解決していく必要があります。その解決手法として、国では、地域による「人・農地プラン」の策定を推進しており、将来の農業の担い手や、農地利用の在り方など、地域の実情に沿ったプランとすることで、地域の農業を守り、育てていくことにつながります。

市では、加西農業改良普及センターをはじめとした関係機関と連携し、地域によるプランの策定を支援するとともに、担い手育成のために新規就農や集落営農組織化への相談・支援を行っています。また、農業関係団体等で組織する加東市農業再生協議会において、地域農業の振興について、協議を行っています。

- 6 防災行政無線放送（火災放送時）の言葉が、専門用語が多くわかりにくいので、改善をお願いしたい。

【回答内容】

ご指摘の専門用語については、合成音声による放送における火災種別の部分かと推察します。

この火災種別は、消防統計上の種別に準じて「建物」「中高層建物」「林野」「車両」「危険物」「その他」の6つの火災種別に区分し、指令台にあらかじめ登録しています。火災が発生した時には、通報を受けた指令台から消防署へ送信される出動指令データと連動し、自動的に合成音声による防災行政無線放送を行っており、これにより情報周知の迅速化及び情報の漏れや誤りの軽減に寄与しているものと考えますので、何卒ご理解ください。

なお、北はりま消防本部管内で発生する「その他火災」のほとんどが、農地等のわら、枯草の焼却から燃え広がった火災です。

また、防災行政無線を補完するものとして、かとう安全安心ネットメールにて詳細な内容を提供できるよう、情報の追加を検討します。

- 7 神戸新聞「イイミミ」欄に、加東市民から病院の職員の接遇の悪さについて投稿されていた。加東市民病院ではないだろうが、他人事とは思わず、うちではこれはないと胸を張って言えるよう気を引き締めて運営に当たってほしい。

【回答内容】

職員の接遇について、外来では定期的に、入院では退院時に、医師をはじめとする各職員の身だしなみ、言葉遣いを含めた説明の分かりやすさ等の患者アンケートを実施しています。また、意見箱を設置し、随時患者さまの声をお聞きしています。その情報を基に検討を行い、必要に応じて現場にフィードバックし、接遇の向上に努めています。外来診察の待ち時間が長くなることや入院中の療養生活上ご不便が発生することもあります。引き続き、快適に診療を受けていただけるよう努めていきます。

- 8 市役所周辺にある銀杏並木の実が多く落ちており、散歩中に「臭い」との苦情が出ている。対策を行うことはできないか。

【回答内容】

銀杏並木の実について、秋の多数落下する時期に定期的な清掃を行います。

- 9 吉馬地区の吉馬川（1級河川）に、萱が繁茂して景観が悪い。県の管理河川であり、地区から何度も県に整備要望を行ったが、優先順位が決まっているようで、すぐには整備してくれないので、市から要望してもらいたい。

【回答内容】

吉馬川の件について、県へ要望を行い、次の回答を得ました。

河川の堆積土砂浚渫は河川断面の3割程度を目安に、また、河川内の除草は萱等が著しく河川の流水を阻害している場合に、治水上・河川管理上必要な箇所について、関係者の協力を得ながら実施しています。

現在の吉馬川においては、河床低下や堆積がありますが治水上影響は少ないと思われます。また、萱等は出水時には倒れるため流水阻害は少ないと考えています。よって現時点では、優先性・緊急性は低いと判断しています。

今後も、堆積状況等河川監視や地元要望を踏まえ、治水上必要な箇所から優先順位を決め順次対応していきたいと考えています。河川除草等景観への配慮の必要性はありますが、治水能力確保を第一に対策を行っていきます。